丹沢ボラネット瓦版

2013年9月号 No.87



丹 沢 大 山 ボランティアネットワークの 交 流 会を開催します。

日時

平成 25 年 11 月 9 日(土) 9 時 30 分~13 時

場所

自然環境保全センター 自然観察園

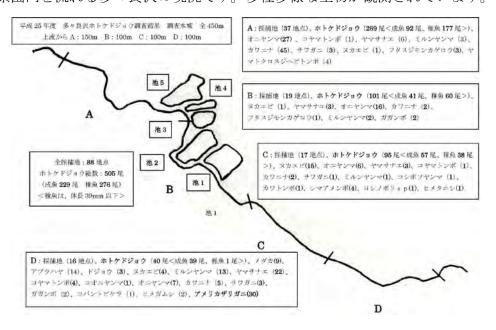
申込み先

自然環境保全センター 澁谷
shibuya.5pfm@pref.kanagawa.jp
締切 11月2日(土)

今年度の交流会は、自然観察園内 2 箇所の池の外来種調査を実施します。23 年度から 2 年続けて「池 2」を調査しましたが、昨年度はブルーギル 288 尾、アメリカザリガニ 242 尾など、少なくなったとはいえ、まだまだ外来種が捕獲されています。今年は「池 2」とあわせて一番大きい「池 1」も実施します。昼食にはおいしいお弁当、プラス今年も「焼きしいたけ」や「さつまいも」の差し入れがあるかもしれませんし(O さん、期待しています)、恒例の「アメリカザリガニのから揚げ」も用意します!!

多数の皆様のご参加をお待ちしています。

自然観察園内を流れる多々良沢の現況です。多種多様な生物が観測されています。



夏休み親子探検隊 スタッフの記録から

今年 10 回目を迎えた夏休み親子探検隊!準備から本番まで御協力いただいたスタッフの視点でイベントの裏側の一部をお伝えします。

7月27日の午後、責任者の Ari さんからメールが届いた。スタッフの役割分担表と集合時間の案内の他に26日の準備作業に初めて参加したメンバーの言葉が添えられていた。そこには次のように書かれていた。"こんなに中身の濃い準備作業をしているなんて 知らなかったのでびっくりした・・。 来年は本番でもぜひお手伝いしたい"

本番の7月28日(日)7時5分、新松田駅改札口付近、前を歩くSakさんが見えた。同じ電車に乗っていたのだ。一緒に改札口を出ると、正面に「丹沢再生」の幟を準備しているAriさんが見えた。「一日よろしくお願いします!」軽く手を振って分かれた。集合場所が山北駅のボクらは、松田駅のホームに上がる。7時32分山北駅。大きなザックを背負うYoさんやIさんと一緒に改札を出る。ふるさと交流センター前には「車移動組」がすでに到着してボクらを待っていた。ロープ張り、受付、バス乗車案内、ふるさと交流センターの清掃、化石展示・・・。17人ものスタッフが役割を分担し、それぞれの集合場所に次々と集まり計画に従って活動を始めているのであった。

今年のボクの担当は観察路のロープ張りと解除作業。仕事の手順を確認したら早速現場に向かう。8時、現場に到着。第1ポイントの河原から県道に上がる場所は Oz さんと Ir さん、第3ポイントの県道に上がる二か所は Yo さんと Mo さん、Ich さんとボクがそれぞれペアを組み作業を進める。三か所のロープ張りが終わった。8時41分、八丁の第2ポイントまで進み、水遊び予定の堰堤や河原周辺の安全を確認する。

全ての準備&確認作業を終えたらふるさと交流館に戻り、開講式に臨む。9時、ちょうど参加者の乗ったバスが到着し「式」が始まるところだった。

開講式が終わり参加者の皆さんが支度をしてバスに乗る前、ボクらは一足早く出発する。ポイント 1 に先に着き、みなさんを安全に誘導するためだ。





神縄断層: 丹沢層(約 1700 万年~1100 万年前の地層)の下に足柄層群(約 200 万年~60 万年前)が潜り込んでいる現場。丹沢層と足柄層の接触する附近は巨大な圧力ですりつぶされ黒っぽい粘土状の層ができている。この周辺には肌色っぽい石灰岩とやや緑っぽい凝灰岩が混在する。サンゴや貝など炭酸カルシウムのからや骨を持った生物が海底につもってできた石灰岩の中には、ひょっとして化石が見つかるかもしれない。

参加者が出発した後、残ったボクらはロープと梯子を回収する。片づけが終わると辺りは何事もなかったように静けさを取り戻す。







梯子を登り



ロープ・梯子は回収

次のポイントに移動すると、参加者の皆さんがちょうどバスから降りるところだった。思いおもいの場所にシートを広げ昼食をとっている間に、ボクらは堰堤の下に石を積み、淵に水を貯めて更に深くする。昼食が終われば水遊び。

水中ブランコのロープを下ろすと・・・早速行列ができた。最初は スタッフが押してあげる。次第に自分たちだけでルールを決めて 遊ぶようになってきた。子どもはいつだって遊びの天才だ。





こちらは飛び込み台。堰堤の 高さに自分の目の高さが加 わるからかなり高い。夢中で 遊んだ昼食後の30分間。は じける笑顔に今までの苦労 が全て報われる。

次の第3ポイントへ、ボクらスタッフは一足先に入口に進み、参加者の到着を待つ。入口から河原に下りるまで、要所に立ち安全を確認しながら誘導する。

この周辺で見られる石灰岩や化石の説明を聞いている間に、 ボクらは上流に先行し飲み物(紅茶)の準備や、県道に上がる急坂の ロープ点検を行ったりする。

紅茶ができましたよ~! 温かくてちょっと甘めの飲み物は冷えた体にピッタリ。順番に並び2杯、3杯おかわりする子もいた。

県道に上がるルートは2本設定されている。写真は、比較的急な「冒険ルート(男坂)」。「ロープに頼っても良いけれど、しっかり足を踏ん張って登ってね・・。」「ハーイ、ありがとうございまーす」こんな素直さが清々しい。全員が登り終われば直ちにロープやスリング、カラビナを回収する。残されているのは踏み跡だけ。

断層の境界には水が湧き出していることが多い。 途中で汲んだ水も神縄断層からの湧き水だ。 汲みやすいように差し込まれている塩ビ管や 竹製の樋はもちろんスタッフによる事前の手作り。







ふるさと交流館に戻り今日のまとめ。

通常、博物館等に展示されている標本は手で触れることができない。でも、ふるさと交流館では写真に撮ることも手で触れることもできる。多くの人に興味を持ってほしい・・という門田先生の熱意と好意からだ。実際の現場に行って観察してきたこともあり、興味がいっそう湧く。丹沢は昔、南の海の火山島として誕生した。丹沢が関東山地にぶつかってできた藤の木一愛川構造線伊豆半島が丹沢にぶつかってできた神縄・国府津一松田断層帯伊豆諸島はフィリピン海プレートに乗り今も丹沢の下に潜り込み続けている。

地球の壮大な歴史にロマンを感じながら・・。

参加者の皆さんは再びバスに乗って松田駅へ。 スタッフの何人かが残り標本の片付けや交流館の清掃。 ロープ担当のボクらは、ここで初めてお客さんたちと一緒の





バスに乗った。たくさん見て、たくさん学んで、たくさん遊んで・・・疲れたのか松田駅までの短い時間、 車内で眠っている子が多かった。

JR 松田駅で降車、小田急線新松田駅まで案内。

「ありがとうございました」

「とっても楽しかったです」

「ありがとう」「楽しかった」・・その一言に今までに流した汗が全て報われる。

ボクらもニコニコと手を振り返しながら改札口に消えていく参加者を見送った。

多くの参加者に満足していただけるイベントだったと思う。

だが良かった良かっただけで終わらせて、本当に良いのだろうか。全てが終了した後で開かれた振り返りの席では、10 年目を迎える来年に向けて、自己満足にとどまらない厳しい意見も交わされるのだった。

(文・撮影 岡澤重男 編集 自然環境保全センター)

丹沢大山ボランティアネットワーク世話人会より

夏休み親子探検隊は今年9年目を迎え、10回開催いたしました。

ここまで続けてこられたのは、門田先生はじめスタッフの皆様の御協力のおかげです。本 当にありがとうございます。次回、節目の 10 年目もエネルギッシュな探検隊が開催でき るよう皆様の御協力よろしくお願いいたします。

世話人会では、ボラネットの新規事業を募集します。夏休み親子探検隊のような楽しい 企画、ボラネット構成団体の皆様が一緒に取り組める交流事業を提案してください。 後日、募集案内にてお知らせいたします。ご応募お待ちしています。

第32回清掃・登山道整備活動報告

NPO 法人みろく山の会 自然保護部実行委員会

今年の異常気象が続くなか一週間前に当日の予報に雨マークがつき、九州の台風はまもなく温帯低気圧に変わりましたが依然として雨マークが消えず厚い雲が垂れ込め雨が降りそうな天気にもかかわらず 200 人を超す参加者により第32回清掃・登山道整備活動が2013年9月8日(日)に大倉及び表丹沢で行われました。

今年は実施時期を9月初旬に設定し、実行委員会方式で取り組みました。残暑が厳しい時期で何よりも表丹沢に増えている山ビル対策が大きな課題となり、ヒルキラーの希釈溶液を入れたスプレーボトルを各班に渡し、出発前にしっかり足元に噴霧するようにお願いしました。また、万一噛まれた応急処置用に塩とバンドエイドも各班毎に準備しました。



ヤマビルキラ一噴射



天神平 小休止

今回は清掃が6コースと整備活動箇所が駒止下の急な階段で作業内容もやや難しいので安全を第一に考えて前回より1コースを減らした2コースとしました。

清掃③コースのメンバーからは心配した雨もなく視界が開け、丹沢の山々が違った角度で見えたのは感激との言葉がありました。また林道に"ポイ捨て禁止"看板の脇に毛布やペットボトルが捨ててあり、皆「あ然」としたとも言われました。清掃④コースは時間ぎりぎりまで頑張り、コースをすっかりきれいにしていただきました。また、清掃⑤コースは今回も秦野戸川公園管理事務所のご厚意でリヤカーを借用し有効に使用しました。林の中に大型バイクの廃棄物があり、林道までロープを使用して下ろしましたが、大きさと重量オーバーでリヤカーへ搭載はあきらめ林道脇に残し後日秦野市へ処分依頼をしました。



清掃活動 表尾根



整備活動 大倉尾根駒止下

清掃全6コースの参加者数は176名で収集したゴミの総量は211.7 kgを可燃物と不燃物に分別し、処分を秦野市に依頼しました。ゴミの量は前回よりも少ないですが、登山道及び林道周

辺は毎年の清掃にもかかわらず多くの廃棄物があります、利用する皆様のマナー向上を関係団体と共に求めていきます。当日は地域の人たちの清掃活動に出会い、お互い「ご苦労様です」の言葉を交わすこともありました。

整備は2コースに合わせて35名が参加し、老朽化した階段が目立つ駒止茶屋下のやや中間付近で丸太階段を13段と予定より多く整備ができました。作業中、登山者から「ご苦労様です、ありがとう」と暖かい感謝の声をかけていただきましたが、登山道の整備中にもかかわらず登山道以外への踏み込みがまだ見られたのはとても残念です。

山ビルはやはり各コースで遭遇したと確認されましたが、幸いにも被害にあった報告はなく ヒル対策は大変好評でした。

天候の都合もあり予定より早めの 14:45 から報告集会を始め、坪井理事長に続き、県自然環境保全センターの森課長及び秦野ビジターセンターの長縄館長からそれぞれ暖かいお言葉をいただきました。

今回も新リーダーに CL をお願いし、中には初めて CL を経験する方もいましたが全コースで真摯に取り組んでいただきありがとうございました。

来賓の皆様



坪井理事長



保全センター森課長



ビジターセンター長縄館長

最後に全員で集合写真を撮って散会しました。清掃④コースは集会に間に合いませんでした が到着後記念写真を撮りました。

参加者皆様のご協力と関係機関のご支援を得て今回も有意義に清掃・登山道整備活動が終了 出来たことに感謝いたします。県民のみならず国民の貴重な自然を残す丹沢をいつまでも大切 に守るこの活動を今後も続けていきたいと考えています。会員の皆様のご協力をよろしくお願 いいたします。



閉会式 集合写真 (右上清掃4班)

平成 25 年度 丹沢自然学校の水質調査 番外編

報告者 NPO法人丹沢自然学校 小林 昭五

丹沢自然学校は調査地点16m四丹沢県民の森⑰仲ノ沢法面水場の水質調査を 5月31日(金)に実施しました。

今年度の水質調査は水場利用頻度、地域性などを考慮に入れて、水質調査地点の見直しが行われました。その結果、昨年度まで調査を行っていた最難関の中ノ沢乗越水場は調査箇所から外れました。おかげで自動車調査を行えるので、たいへんに楽になりました。しかし皆で協力しながらハードな沢登りや登山の機会が失われ、残念な気もしています。



立間大橋(仲ノ沢林道)



昨年 中ノ沢乗越水場 (檜洞沢)

16 西丹沢県民の森の調査

西丹沢県民の森は玄倉から玄倉林道〜分岐点立間大橋〜仲ノ沢林道〜終着 ゲートと行きます。そこが西丹沢県民の森入り口になっています。

早速、説明版の所の階段を上り県民の森に入ります。ひんやりして気持ちが良いです。100m上ると東屋が有り、その左下に水場である蛇口が2つあります。早速、水質調査に取りかかりました。ところが何と水が出ません。水道の元栓やら、水源の沢を探したが見つかりませんでした。後で聞いたが、昨年の台風で壊れたみたいです。下の林道にあるトイレ水道も使えません。現在、修繕依頼中です。

西丹沢県民の森は杉、檜、イヌブナ等がこんもりと茂っている自然豊かな森です。真夏でも空気が冷たくて森林浴等には最適です。別名「大正の森」と言い、大正四年に植樹され、およそ 100 年にならんとしている神奈川県の貴重な森です。「かながわの美林 50 選」「森林浴の森日本 100 選」に選ばれています。石棚山、檜洞丸や小川谷の入り口です。



大正の森(杉・檜の大木)説明版



水のでない蛇口







県民の森周辺の案内板

① 仲ノ沢法面水場の調査

仲ノ沢法面水場は立間大橋から 300m 林道を歩いた場所にあります。石垣の 法面からビニールパイプがあり、勢いよく水が飛び出しています。

この水場は登山者や県民の森を訪れる人達ばかりでなく、丹沢の水を求める市民や業者なども頻繁に利用しています。それ故に水質調査は欠かせません。周辺には沢や湧水は沢山有ります。昨年林道いっぱいに流れていた湧水は今年、写真のように、いたっておとなしくなっていました。



仲の沢法面水場調査中

今年道路脇湧水

昨年道路に溢れる湧水

平成25年度の水質調査の結果 (次頁の表をご覧ください)

22 箇所の検査を行い、5 箇所から大腸菌が検出されました。

日向林道起点水場

龍神の泉

後沢乗越水場

用木沢出合

一軒屋避難小屋前水場

※注意

今回検出されない場所でも季節や天候により大腸菌が検出される事があります。沸騰させて飲用しましょう。

調賣地魚		一般笛團	大陽區	硝酸態窒素及 び垂硝酸態窒	福行物イギン	有機物	pH個	酱	斯斯	町	極觀		水場周辺の状況	四の状況			脈	気象の状況	
	極大田	CFU/mg	1	mg/2	mg/0.	1/gm	1	1		色	₽K		1				1	K	
		100CFU/ml JJ.TF	検出されないこと	10mg/g 以下	200mg/ll 以下	3mg/g U.F	5.8以上8.6 以下	異常でないこと	異常でない こと	5度以下	2度以下	二三數乱	野外排泄	7	水場設備	天当綠日	米福	原の	光。
半原越付近	5月14日	7	不檢出	1米部	2.0	0.3未赚	7.9	任務	報出	6	0.5未谱	なし	なし	tel.	取水口	職和	行警	28	13
2 日向林道起点水場	5A16B	S	極田	-1	1.9	0.3未辦	7.5	*	正確	ě	0.5未謝	なし	なし	なし	取水口	職和	盛れ	20	13
3 護障壓敗跡	5月15日	0	不檢田	海米し	1.3	原米E'0	16	任務	新田	1	0.5未谢	なし	なし	あり	取水口	雕和	晴れ	22	14
堂平沢	5B15B	20	不模出	1米湖	10	0.5	7.6	能出	報出	4	zw.	tel	tel	tel.		聯北	晴れ	22	14
5 原小陸平水場	6A2B	28	不輸出	複米に	2.0	0.3未辦	1.1	正常	正統	1/	-	#F	なし	なし		68	晴れ	10	0)
泰發山避難小陸	6A8E	4	不検出	擬米1	1.0	擬米8.0	7.3	能出	報出	(e)	原半9.0	921)	99	なし		聯れ	638	14	80
大山 弘法の水場	5月27日	7	不検出	3	4.0	0.3米粥	7.8	正簿	軽出	14.	0.5未谢	tal.	なし	なし	取水口	福	晴れ	24	17
春戲湧水	5月27日	0	不饒出	擬米1	1.7	0.3未謝	7.5	報出	報出	÷	原半9:0	なし	til	なし	取水口	(i)	晴九	24	52
葛葉の泉	5月22日	0	不梭出	1条第	1.9	0.3未過	7.6	正第	正常	Ŧ	0.5未谢	なし	なし	多马	取水口	晴れ	晴れ	21	91
10 竜神の泉	5月22日	30	機田	1未滿	1.9	版 ¥8.0	7.5	*	紅出	4	原半9 0	なし	なし	なし	取水口	晴和	晴れ	12	17
11 後沢乗越水場	5 月 5日	24	横出	1未満	1.6	0.3未谢	7.9	*	正常	1	į.	なし	なし	なし		晴れ	晴れ	20	12
12 二俣の水場	5,H5B	2	不檢出	/ 米	1.4	0.3未避	7.8	批批	田		0.5未謝	なし	如	如		購札	晴九	20	11.5
13 大倉高原山の家水場	5A15B	47	不檢出	無米1	1.1	7.0	2.5	能出	新田	m	2	なし	なし	Ú.	取水口	伯子	晴れ	11	12
14 塔/岳水場	5A15B	-	不模出	1米湖	-0	0.3	7.2	民務	報出	6	0.5未謝	なし	なし、	バイオトイレ	取水口	雕和	隋九	15	13
15 智瀬川人選	5A 16B	29	不檢出	無米1	3.0	9.4	7.9	正統	年	- F	0.5未建	なし	なし	なし		晴れ	雕札	23	5
16 西丹沢県民の森	採水不可																		
17 仲ノ沢法面湧水	6月1日	0	不検出	1未満	1.2	0.3未谢	8.3	正常	推进	1,0	興半90	な	なし	なし	取水口	有蓋	晴れ	21	13
18 用木沢出合	6月24日	52	横出	1米選	1.0	90	7.6	*	正常	1	0.5未満	484	なし	なし		有差	部	23	(5)
19 一軒屋遊雞小屋前水場	6月24日	10	報出	無半し	1.0	1.0	2.6	*	世	1	製業90	64	角架	なし		加	0.00	22	9)
20 大越路すい道水場	5,819B	0	不検出	1未満	131	0.3米粥	7.9	证	新田	Τ.	原半9.0	なし	なし	なし	取水口	有器	有蓋	20	OL.
21 犬越路 日陰沢	5月19日	2	不検出	1未谢	1.0	0.3未谢	9.7	正常	秋日	T.	0.5未満	なし	なし	なし	取水口	6番	10番	20	13
22 工ビラ沢出合	5月19日	0	不極田	1米瀬	0.2未消	0.3未満	7.9	新州	田	E.	0.5未満	なし	なし	なし	取水口	合語	6年	20	13

丹沢ボラネット瓦版 2013 年9月号(通巻 87 号) 9月 30 日発行 丹沢大山ボランティアネットワーク (世話人代表 杉山勉)